

2024国際教養科 NEWS 1 月

12/9 台湾 国立中山大学附属国光高級中学来校



台湾生徒の発表



記念品交換



英語班による長野西高紹介



中国語選択者による中国語にての日本紹介



台湾生徒のダンス発表



善光寺ガイド



本校生徒のダンス発表



ワークショップも盛り上がりました



来年も待ってます！

陳 修平校長始めとする2名の先生方と生徒38名が、12月9日本校を修学旅行の中で訪問しました。午前中は、2年生国際教養科クラスが運営する歓迎セレモニー、歓迎行事に参加しました。午後は1年生国際教養科クラスが主体となって、善光寺ガイドツアーを実施しました。

外国からの高校生との直接交流は、昨年度の中和高級中学の訪問以来であり、台湾の仲間に日本文化や

日本の学校について理解を深めてもらおうと、準備に労を惜しまず、当日に備えてきました。

セレモニーでは、両校の学校長のご挨拶と記念品交換に続き、両校生徒代表挨拶が英語で行われ、両校の学校紹介が順番に行われました。本校の学校紹介は英語班の生徒が担当しました。

日本文化の紹介では、中国語選択者 10 名による中国語を使って、日本の独自文化、長野の文化、ポップカルチャーなど多岐に渡る紹介がされました。その後、会場を体育館に移し、台湾の生徒からは日本のポップスの歌と、ダンスの発表をいただきました。本校からは、全員でダンスの発表を行いました。

それぞれの発表も、多くの時間を掛けて練り上げてきた発表で、万雷の拍手を台湾の生徒と先生方からいただきました。その後、両校生徒で 8 名ほどの小グループに分かれ、お互いの文化紹介や SNS の交換するなど、濃密な交流の時間が持てました。

午後は、1 年の国際教養科生徒が、台湾生徒を善光寺に案内するガイドを行いました。台湾生徒 4 名と本校生徒 4 名のグループを作り、善光寺や周辺のお土産屋、食事処に案内するなど、2 時間ほどではありましたが、両校生徒の交流が深められました。同時に英語で文化や習慣を説明することの難しさ、楽しさを体得することによって、今後さらに語学力を付けていくことの必要性を新たに感じた取り組みでした。

2 年橋田光理さん 県教委主催 つばさプロジェクト 韓国派遣の手記

2 年国際教養科の橋田光理さんは、県教育委員会主催のつばさプロジェクトで 11 月韓国へ派遣しました。感想をまとめた手記は以下です。

「韓国が好き」、「憧れの人の出身国」という小さな動機から私はこのプロジェクトに参加しました。

ソウル市庁や博物館、韓国を代表する大企業視察、高校・大学での交流などタイトなスケジュールの中、気が付いたことがあります。

それは、自分の韓国に対する偏見や無知さです。

韓国人は日本人に比べて冷淡で自己主張が強いといったイメージを勝手に持っていましたが、全くそんなことは無かったのです。

出会った韓国の方の優しさに何度も救われました。

言語の壁にぶつかっては 訪韓団の仲間に助けられたり、意思疎通ができた瞬間の喜びを味わったり、日本の学校では習わなかった日韓の歴史的な 이슈 も知りました。

1 週間の研修は、韓国を「ただの憧れの国」ではなく「もっと知りたい、もっと近づきたい国」に変換された貴重な時間でした。

自分がいま見ている（知っていると思い込んでいる）情報を全てだと思わず、未知の世界へ自分の足で向かえる勇気をこれからも持ち続けたいです。

最後に、私たちの信州つばさプロジェクト JENESYS 韓国コースに携わっていただいた全ての方々に感謝します。ありがとうございました。